

県勢アベックV

九州小学生ハンド

ハンドボールの第32回九州小学生親善大会最終日は25日、長崎県立総合体育館で男女の決勝まで行われ、男子は当山が神森との県勢対決を16-11で制し、12年ぶりの5度目の優勝を飾った。女子は浦城が明野西(大分)を22-16で下し、2連覇を飾った。

男子のベスト7には当山から比嘉麻人、渡員知傑、井口元太、神森から奥原龍之介、西銘龍希が選ばれた。女子は浦城から金城ありさ、大城由衣里、銘知みなみ、宮城から高橋穂乃果が選出された。

▽男子決勝トーナメント1回戦
神 森 21-8 延岡東 (宮崎)

▽同準決勝
当 山 17-8 小島 (長崎)



当山、市内対決制す

男子

○：浦添勢同士の対決となった男子決勝は地方に勝る当山＝写真真＝が16-11で神森を退けた。

「特に指示することもなかった。ずっと安心して見ていられた」と福治友浩監督。ディフェンスからの速攻など、当山の持ち味が十二分に発揮された形になった。

決勝で10得点の活躍だったエースの井口元太は「マークに付かれても自分からボールをもらいにいき、シートンまでもっていった」と満足そうだった。

神 森 19-16 豊福 (熊本)

▽同決勝
当 山 16-7 玉名町 (熊本)

▽女子決勝トーナメント1回戦
浦 城 17-12 神森 (大分)

浦城、速攻決め連覇

女子



○：決勝トーナメント1回戦で神森を、続く準決勝浦城と、県勢を倒して決勝進出を決めた浦城＝写真＝に勢いをつけた銘知み真。明野西(大分)との決勝はディフェンスで連係ミスもあったが、主導権は渡と声を弾ませた。

さなかつた。栗國茂則監督は「スピードに乗ったサイド攻撃がよかった」と、2連覇を喜んだ。

▽同準決勝
浦 城 9-7 宮城 (大分)

▽同決勝
浦 城 22-12 明野西 (大分)

当山(男子)、浦城(女子)九州V小学生ハンド

ハンドボールの第32回九州小学生親善大会最終日は25日、長崎県立総合体育館で男女の決勝トーナメントが行われ、男子は当山が神森との県勢対決を16-11で制し、12年ぶり5度目の頂点に立った。女子は浦城が明野西(大分)を22-16で

下し2連覇を遂げた。
 【男子】
 △決勝トーナメント準々決勝
 神 森 21(11)0(4) 延岡東 8(宮崎)
 当 山 17(7)10(1) 小島 8(長崎)
 △同準決勝
 神 森 19(9)7(9) 本 16 豊福 熊

【女子】
 △同決勝
 当 山 18(8)11(9) 玉名町 8(熊本)
 △同決勝
 浦 城 9(2)4(4) 7(宮城)
 △同決勝
 浦 城 22(10)16(10) 明野西 16(大分)
 △ベスト7 男子・比嘉麻人 渡具知傑、井口元太(以上当山)、奥原龍之介、西銘龍希(以上神森) 女子・金城ありさ、大城由衣里、銘みなみ(以上浦城) 高橋穂乃果(宮城)



12年ぶり5度目の頂点に立った男子・当山
 =長崎県立総合体育館



2連覇を果たした女子・浦城

当山、堅守で県勢対決制す

○：県勢対決となった男子決勝は、当山が堅守で神森の攻撃を封じ、12年ぶりの頂点をつかみ取った。

当山は、主将比嘉麻人と井口元太の両45度が攻守の要となった。横の連係を生かした0-6の陣形では、1対1に持ち込まれても抜かずにシュートを封じ、攻撃では相手を引きつけてポストやサイドにパスをさばらせた。

福地友浩監督は「九州に向けて強化した守備がうまくいった」と評価。比嘉も

「練習したことを全部出せた」と喜び、「優勝した時の気持ちを忘れず、中学でも頑張りたい」と話した。

浦城、安定感で2連覇を達成
 ○：ポストを2人置いた

攻撃や速攻で勝ち上がった女子の浦城。決勝でも安定した試合運びで2連覇を達成した。

同じ攻撃スタイルの明野西(大分)を3-2-1の陣形で守り、ポストからの得点を封じることが成功した。

栗国茂則監督は「逆に勝は接戦で苦しかった。決勝では守って速攻ができたのでよかった」と2連覇を喜んだ。

で破り、初戦を勝利で飾った。大会第3日の26日も予選リーグが行われ、県選抜は女子が兵庫と、男子は北海道人と戦った。

女子県選抜初戦を飾る

JOCハンドボールハンドボールの第20回JOCジュニアオリンピックカップは25日、愛知県の露橋スポーツセンターで女子の予選リーグを行い、沖縄県選抜女子が愛知を19-14

で破り、初戦を勝利で飾った。大会第3日の26日も予選リーグが行われ、県選抜は女子が兵庫と、男子は北海道人と戦った。